

歯科医を公務員にするのはどうですか

日本の医療は統制経済のようだとされます。診療報酬は公定価格だし、雁字搦めのルールの中で自由な選択というのはあまり認めません。

医療が統制経済なのかそうでないかの議論は昔からありました。小泉さんは厚生大臣の時に国会の場で、医療制度というのは、自由市場の中での統制経済だとおっしゃりました。

その後、自由化、市場化という世の流れの中、議論は錯綜していきます。

医療雑誌でも、厚生省の中堅や若手は、医療の自由化について腹を括ったなどと書かれることになります。

ところが更に後になると、どうもそうではないといわれはじめます。たとえば厚生労働省は混合診療の解禁について極めて否定的です。現場の者からすれば、医療制度がいったい誰の方を向き、どこへ進もうとしているのかわからなくなってきました。

悪名高い巨大掲示板の 2 ちゃんねるには様々な板があります。病院・医者板というところを開くと、じきに「つぶれかけ」という文字を目にすることになります。

「つぶれかけのクリニック」そこから派生して「つぶれかけの歯科クリニック」略して「つぶクリ」転じて「粒クリ」といわれています。

患者さんが少ないのか、借金が多いのかはともかくとして、経営に悩むクリニックの開設者たちが自嘲して書き込んでいるのです。

日本の医療が純粋な意味での統制経済であれば、もちろんこんな存在は許してもらえないでしょう。

そもそも厚生省が医療の国営化を目論んだことは一度としてなかったそうです。

しかし皆保険制度にして、自由開業医制。

やはりいっそのこと医療者を公務員にしてみたらどうでしょう。

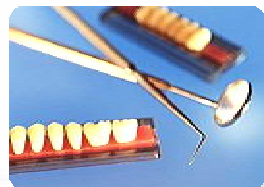
実のところ、少なからぬ数の歯科医はそう思っています。それに経営のことなんか考えずに、目の前の患者さんに向かうことができます。

でも「つぶれかけ」なら国は不良債権の処分なんて御免でしょうね。今や生涯年収では公務員に遠く及ばない歯科医なんか、お役所の仲間になれば財政負担が増えるだけといったところでしょうか。

本当はどんな形が望ましかったのでしょうか。

自由がいいのか悪いのか。

尤も自由開業医制といっても、開業するのが自由というだけで、あとは全く自由ではないのですがね。



2009/12/07

みんなの歯科ネットワーク

